

議会だより



「さんげさんげ」

富山馬頭観音堂は江戸時代後期に小国大工が技術の粋を尽くして再建された建造物で、県の有形文化財に指定されています。12月に行われた「さんげさんげ」は、裏表紙の「私の想い」でご紹介しています。
撮影：石山竹美さん（新田）

12月 定例会

CONTENTS ◎ 目次

- 02. 新年のご挨拶・全議員の抱負
- 03. 特集「今日は、私たちが議員」
最上中3年生による「ゆめ議会」開催
- 06. ピックアップ議案審議
「物価高騰に伴い公共料金の一部値上げへ」ほか
- 08. 町政を問う 6議員が一般質問
- 11. みんなの議会 町民の方に聞く「まちの1年に期待すること」



【編集後記】

昨年は、七月の豪雨災害で大変な年になってしまいました。被災された町民の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を議員一丸となって、推し進めるよう努力しています。

また、広報委員会では、広く町民の皆様のご意見を取り上げたく取材に取り組んでいます。

今後とも、皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。
(菅孝)

広報編集委員会

委員長	宮本 浩
副委員長	菅 孝
委員	栗林 浩子
委員	佐藤 正市
委員	須貝 康幸
委員	山崎 香菜子

お詫びと訂正

最上町議会だより186号
(2024年10月24日発行)

12Pの山崎議員の一般質問の質問文の最後が途中で切れておりました。正しくは「利便性の高い中心部に多世代が交流できるような集合住宅の建設が必要と考えるが、町としての考えは。」でした。
お詫びして訂正いたします。



富山馬頭観世音
天台宗東善院 住職
おくやま とうじひろ
奥山 東順 師
(新田)

皆様の幸せを日々祈っています

昔はお寺だけでなく、集落や旧家などでも人が集い行われていた「さんげさんげ」。「お柴灯」とは意味合いが異なり、現在行っているのは郡内でも数えるほどになりました。

さんげとは懺悔のこと。人は食事をしなければ生きてはいけません。お米や野菜、肉や魚の命をいただいているのです。また、良かれと思ってとった行動が相手を傷つけてしまうこともあるのです。

「さんげさんげ」は日本中の神仏に降りてきていただき、この一年日々の暮らしの中で知らず知らずのうちに犯している罪を懺悔し心身共に清らくなり新年を迎えるための行事です。

以前はこういったお寺の行事にたくさんの方が集まりました。子供たちはお菓子をいただき、大人はご馳走やお神酒をいただくことを楽しみにしておりました。農家が多かったこの地域では休みや娯楽も少なく厳しい生活を送っておりました。そんな日々の中で行事がある日は朝から仕事を休んでお寺に集い、明日への活力を養っていたのです。

時代の流れにより生活様式がだいぶ変わってきましたが、私はこれからも皆様の幸せを日々祈っております。



議会の主な動き

10月5日(土)

最上地域 森の感謝祭2024

最上管内の緑の少年団・林業従事者約180名が最上町ふれあいの里を会場に「小さなことから始めよう SDGsの森づくり」が開催されました。参加者全員でふれあいの森に記念植樹と少年団によるスギの植栽体験、木質チップ敷きを行い、改めて森林について考えるイベントになりました。



11月5日(火)

JR東日本東北本部へ要望書を提出

町長・議長がJR東日本東北本部を訪問し、陸羽東線の早期復旧の要望書を提出しました。町と議会では、今後も陸羽東線の沿線各自治体と連携し、早期復旧に向けた要望活動に力を注いでいきます。



12月4日(水)

大崎市議会との合同研修会

酒田・石巻道路整備事業のさらなる推進と両議会の兄弟議会提案や互いの議会活動の取組みについて意見交換するなど、活発な研修会となりました。両議会が抱える課題は多いですが、お互いの理解と協力を誓い確認し合う機会になりました。



12月定例会

議会インターネット配信

傍聴者数

視聴回数

7名

1029回



2025 NO.187

最上町議会だより

発行 / 最上町議会広報編集委員会
最上町役場 / 山形県最上郡最上町大字町向644



議会傍聴のご案内

次回の定例会は
3月 定例会 です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

デザイン印刷/ 合同会社 クロスプランニング



特集

ゆめ議会

2024

今日は、私たちが議員

～ 最上中学校3年生が町に提言! ゆめ議会を今年も開催 ～

11月28日(木)にこども議会「ゆめ議会」が開催されました。この「ゆめ議会」は、中学校の総合的な学習「ふるさと学習」の探究活動の成果発表で終わるのではなく、そこから町に提言する事で、まちづくりへの参画意識を持ってもらい、郷土愛の醸成につながればとの思いから議会から再開を提案し、昨年度から開催されています。当日を迎えるにあたって議員も事前に発表を聞いて直接アドバイスさせていただきまし

た。今年、最上中学校3年生7名から代表して15名が「ゆめ議会」で堂々と町へ提言しました。

ゆめ議会の進行内容

質問の方法は、各テーマに分かれたグループ毎に1人目が代表質問。これに町長が答弁し、次にグループのメンバーが再質問という形で関連した質問をし、これに担当課長が答弁しました。

住みよいまちづくりについて

**予約制デマンドバス
レインボー号の運用について**

菅 倫嘉

問

町内では移動手段が少なく、不便な事が多いと思います。私たちは、土日や夏休み中に運行してもらうと学校の部活動への登校手段ができて、親も助かります。具体的に目的や運行本数を増やすこと、夏休み期間中の中学生の料金の割引をすることができないか、教えてください。また、このことを通して、高齢者の免許を返納した人に交通手段ができて、免許を返納してもいいと思う人も増えると思います。町の交通手段について、特にレインボー号の活用についてどう考えているのか、教えてください。

答

町には、レインボー号と他の、タクシー等の民間の運行事業所があります。法律には各種運行業務の担い手は、互いに連携協力する必要性が示されており、中学生の皆さんからは大いにレインボー号を利用していただきたいところですが、運賃や休日の運行や便数等の制約により課題があるのも事実でございます。今後、利便性の向上に努め、若者の皆さんにも支持されるものとしていきたいと考えています。

スキー場の夏場の活用について

菅 夏芽

問

町を訪れる観光客の数が減少していると聞いています。そこで、スキー場を雪のない時期にお花畑として活用して、観光や花の販売や加工することで町も活性化していくと思います。夏場のスキー場の活用についてどのように考えているのか、教えてください。

答

夏場における活用も欠かれないものであり、新たな魅力として、観光客を誘導できる方策の一つであると認識しております。具体的には、芝桜の試験栽培を実施する予定となっております。また、スキー場からの眺望は町内を見渡せる絶好の場所であり、冬だけでなく四季折々を体感できる場としてミートレッキングコースなども検討していきたいと考えております。

その他の質問

若者定住にむけた取り組みと町政課題の優先順位は

奥山 匠悟

高齢者の雇用、高齢者が生きがいのあるまちづくり

藤原 花穂

最上町議会議員より 新年のご挨拶

新年の抱負



新年明けましておめでとうございませ

迎えた令和7年が町民の皆様にとりまして、輝かしい年になります様、祈念致します。ふり返れば昨年の冬は、過去に例を見ない雪不足の中で国民スポーツ大会の開催でしたが、関係者の大変な努力の中で無事に終了する事が出来ました。多くの協力者に心より敬意を表します。

更には町始まって以来の豪雨災害に見舞われ大変な被害が発生しており、町全体で対応に大変苦慮している状況にあります。道路の通行止め、JR陸羽東線の不通等、町だけでは解決出来ない事例、農地被害の復旧は当然であります。大変大きな課題があり、それらの解決に向けた対応を急ぐ必要があります。それと共に財源の確保に向けても、大変厳しい状況の中での対応が問われます。

いつも言われます選択と集中をより確立しながら、町づくりに関係者一丸となつて取り組んでいく必要があると思

います。以上の様な町の状況でありながら、町民の皆様のご理解とご協力を頂き、議会と執行部しっかりと連携を取り合つて問題解決を目標とし、年頭の挨拶と致します。

最上町議会議員

伊藤 一雄

尾形勝雄
初心を忘れず、皆さんの声を大事に、当たり前の暮らしができること。

佐藤 正市
町民の目となり、耳となり、ガムシャラに町政に向き合う姿勢を貫く!

栗林浩子
財政立て直しに力を注ぎ、同調圧力に屈せず信念を貫きたい。

須貝 康幸
へびの様にしなやかな考えを持ち提言してまいります。

佐澤 浩
新年を迎え最上町が「安寧秩序の地」となる事を祈り進進いたします。

菅 孝
二つ着美に、町民の問題解決に全集中で取り組みます。

宮本 浩
直面する課題と向き合い、次代を見据えた政策提言から実現へ。

山崎 香菜子
蛇のようにつねりながら閃いたアイデアを政策に結びつけます!

佐藤 義男
監査委員としての責任を果たし、町民の声を町政に反映させます。

最上町議会議員
伊藤 一雄

Pick up!

観光施設について



問 現在、閉校となった小学校が6校あります。これらの旧校舎は、町民の皆さまの様々なご提案やご要望により、新たな活用がなされています。地域活性化につながるイベントを行う際は、大いに応援させていただきたいと考えており、光熱水費は町で負担し、必要な物品などの貸し出しも行ってきております。また、イベントの周知などの情報発信を、町の広報紙やSNSを通じて、行っております。今後とも廃校利用のアイデアをお寄せいただけますようお願いいたします。

答 最上町でとれた野菜などを販売するイベントを開催して、観光客や交流人口を増やして、明るい最上町を考えています。しかし、廃校を利用する際にお世話になっていた近くに住む管理人さんもおなくなり、気軽に使えなくなってきたように感じます。施設の管理や町のサポートも含めて、廃校の利用についてどう考えているか、教えてください。

廃校利用について 高橋 沙幸

問 町では閉校した校舎などに活用して遊び場を作ることができないかなどについて具体的な検討を進めております。旧東法田小において親子連れでスケートボードを楽しむ方が増えております。町全体を大きなテーマパークと位置付け、「自然や温泉の恵み」さらには「文化的、健康的な交流体験」と組み合わせて広く発信することに、「笑顔が輝き住み続けたいなるまちづくり」に向けて取り組んでまいります。

答 町では閉校した校舎などに活用して遊び場を作ることができないかなどについて具体的な検討を進めております。旧東法田小において親子連れでスケートボードを楽しむ方が増えております。町全体を大きなテーマパークと位置付け、「自然や温泉の恵み」さらには「文化的、健康的な交流体験」と組み合わせて広く発信することに、「笑顔が輝き住み続けたいなるまちづくり」に向けて取り組んでまいります。

大人も子供も遊べるテーマパーク 齊藤 斗愛

問 公共施設や観光施設における町の方針について

大場 柚葉 奥山 紗羅

Pick up!

地産地消やSDGsの取り組みについて



問 町には、りんごなどの花や久五郎みそなど特色あるものがあります。例えば、りんごの花を使ったバスボムや石鹸、久五郎みそを使ったお菓子など、新しい特産品を作ることで広く町のことを知ってもらえるのではないかと思います。町の特産品は、どのようにPRしているのかを教えてください。

答 町の特産品や農産品、PRするために「道の駅がみ」を設置し、町の有益な情報提供を行うしております。さらに、ふるさと納税の返礼品として、全国に町の魅力としてPRしており、米、もがみ牛、アスパラガス、くじら餅、アユなどがあり、町として誇れる特産品となっております。中学校の生徒の皆さんには、ご自身の出来る範囲内で構いませんので、町のPRと応援をよろしく願っています。

まちの資源を生かした特産品の開発 渡辺 玲

問 バタフライピーというハーブがあります。きれいな青色でリラック効果も期待できるハーブティアーに加工したものが注目されています。私はこのバタフライピーを町で栽培して商品化し、ハーブティアーが特産品にならないかと考えています。こうした新しい特産品の開発についてどのように考えているのか、教えてください。

答 ハーブ栽培についても、町の気象条件にあった品種の選定や栽培技術の習得、加工品開発、販売戦略など、地域ぐるみで取り組むことで産地が注目され、町の活性化につながるものと考えます。「ハーブの町、最上町」が出来れば、とても素敵な町になると期待するところです。素晴らしいアイデアをいただきましたので、スキーマの夏場利用と併せ、植栽を検討していきたいと思っております。

新しい特産品の開発に 取り組んで商品化を目指す 岡野 羽那

問 規格外のアスパラを使った商品開発

高橋 侑太郎 佐藤 結唯



アパレル会社の起業 柴崎 妃奈乃

問 若い人が都会に引っ越してまいり、人口減少が進んでいます。新しくアパレル会社を作りたい。「最上町ブランド」として若い人に興味を持ってもらえるような服を作ること、若い人が町に住み続けることが出来るようになることを考えた。起業についてのメリット、デメリットなどについて教えてください。

答 起業するメリットとしては、自由に自分の目標に向かってやることができ、長く働き続けられること。また、それらに対しデメリットをあげるならば、収入が保証されないことや、失敗する可能性もあり、起業に係る費用の調達が必要であることなどが挙げられます。町内にアパレル会社を立ち上げ、商品をブランド化していく、前向きなお考えはとても大切であると思っております。目的や目標を掲げ、自分にあった方法を選択することが重要となります。将来、どんな職業に就くか、じっくりと考え進路に向かって頑張ってくださいませますようお願い申し上げます。

問 これからの時代、今ある仕事の半分が消えていく可能性があると言われております。若者が町に定着するためにも、これから町で新しい起業の際のスタートアップのサポートは大切だと思います。現在、町で起業を目指したとき、費用の補助や製作・販売する場所などについてどんなサポートがあるのかを教えてください。また将来的に起業支援をどのように目指していくのか、町の考えを教えてください。

答 現在、町では個人や事業者の皆さんが起業したい、または起業を検討している方への相談窓口として、「産業振興センター」を設置しております。さらに、町独自の事業である「農観商工ビジネスチャンス支援事業」を通じて、支援を行っており若者や女性が新たな事業にチャレンジし、産業振興の担い手となるよう引き続き、支援してまいります。

起業化に向けた現在の支援策と今後の考え 柴崎 つぐみ

問 冬場の仕事をつくって、町の収入を増やす

菅 新菜

ゆめ議会に参加しての感想

長島 乃萌さん

議員さんや各課長さんの質問や答弁が具体的に、すごく分かりやすかったです。聞き取りやすかったです。これからの事でも見通しを持って活動したり、向事にもチャレンジすることの大切さを教えていただき、背中を押してもらっているような感じが、すこしうれしかったです。

香澤 凜桜さん

議員から質問された事と少しずれているような回答があったと思うので本来の議会なら、そのようなことに深掘りして何度も質問するのと同じくききました。議員の質問に対して否定せず、丁寧に理由を入れて答えているのが、とても印象的だと思います。

菅 倫嘉さん

町の課題に対して、町が思った以上に対策をしてくれているところ驚きました。しかし、それだけの対策をしても改善しないならば、町だけに頼るのではなく、民間の企業や住民がこの町の課題を意識しながら、行動していかなければならないと思えました。また、このようにして議会が開かれ、町を運営していくの、仕組みを確認することができました。

柴崎 慶斗さん

あまり見たことなく、初めて行った所だったので政治のことについて理解しやすかったです。このようにして議案が確定するか、なにも知りませんでした。これから生きたりするような体験で良い思い出になりました。政治のことは今まであまり興味なかったけれど、これからは政治について関心を持って見ていきたいです。



当日のゆめ議会は こちらから



- 令和6年 -
12月定例会審議案

■ 専決処分 …… 1件

令和6年度 一般会計
補正予算(第6号)

■ 条例改正 …… 8件

一般職の職員の給与
に関する条例の改正
手数料条例の一部を
改正

瀬見温泉・ウエルネス
プラザ・セミナーハウス
赤倉ゆけむり館・簡易
宿泊施設条例の一部
改正

■ 令和6年度

一般会計(第7号)・

特別会計補正予算

国民健康保険事業

特別会計補正予算

ほか …… 9件

計18件

17件を原案通り可決
1件を否決

Pick up!

農業における災害復旧の現状は



問 災害復旧費の運搬車や重機の借上げ料(リース)、何件の申請があったのか。

答 同一地区の復旧と一緒に施工して効率よく復旧していただいていることから一つの伝票に複数の内容が入っているため何件と答弁はできませんが、最終的な被害箇所数は473箇所、その中で農地が238箇所、農業施設235箇所でした。現在473箇所中、273箇所、約6割が復旧していると確認しております。

Pick up!

7月豪雨災害に係る減免措置



問 温泉使用料の減免についての内容は。

答 7月の豪雨災害で被害を受けた公共の源泉を供給している旅館を対象に入り込み数から現状分析をし、前年の7・8・9月と同年の同月を比較し判断させていただきました。その結果、瀬見温泉の4事業所が明らかに売上げが減少しており、その減少率に応じ、温泉使用料を減免します。

Pick up!

特別職の給与等に関する条例を否決

問 特別職(町長・副町長・教育長・議員)の期末手当を0.1ヶ月分引き上げる改正について、7月の豪雨災害で町民が疲弊している中で、せりあげるような立場ではない。本議案を提出する前に町長から議会に申し入れをしていただければ話し合いができたのではないかと。町の財政の状況から見ても賛成できない。

答 財政の厳しい時に、特別職に関しては見合わせたいと考えます。事前に話し合いの場を持たなかったのは私の不徳の致すところと。今後はこういったことのないよう、共同提案となるように配慮していきます。

Pick up!

コンパクトシティを目指した立地適正化計画を

問 立地適正化計画策定業務委託料と都市計画マスタープランとの連動性は。

答 年度途中で国の指導により人口減少を見据えた社会機能の集約化を目指すものとして立地適正化計画を求められました。今までも同様の計画策定の機会がありました。が、努力義務でした。今後は国庫補助事業申請の要件となっていることから手を挙げさせていただきます。国の補助が100%で、町の支出もない有利な計画策定となります。社会機能、居住区域、跡地管理など、区域を設定して中心拠点に効率よく集約していく際の指針的なものになります。マスタープランと基本的な部分は合致させた上で策定してまいります。

Pick up!

赤倉温泉スキー場の今後

問 赤倉温泉駅からスキー場への無料送迎を行うという考えだが、どのような取り組むのか。

答 予約制で赤倉温泉駅からスキー場までの送迎を準備しています。運営はスキー場のスタッフで行いたいと考えております。

問 赤倉温泉スキー場の廃業されたヒュッテの今後の活用は。

答 ヒュッテは軒が空くことのないよう検討しているところです。町が借り受け、営業を希望する事業者に貸し出しをしたいと考えています。



Pick up!

大堀放課後児童クラブのスムーズな移転を

問 大堀放課後児童クラブ(学童)の移転について運営がスムーズに移行できるのか。

答 現在利用している施設の安全面や学童に通う際の交通事故や不審者の心配があり、移転に向けて6月から委託団体や大堀小学校と協議を行ってまいりました。その上で大堀小学校の教室を学童のために空けていただけることになり、今回の補正予算をインターフォンや仕切り扉、カーペット等の施設整備に使用させていただき、今後もさらに協議を重ね保護者の皆様への説明等、きめ細かな対応に努め、スムーズな移転を目指すとともに、一層の安全安心に配慮した学童運営を図ります。



12月定例会

[会期]
12月11日(水)~13日(金)

Pick up!

議案審議

物価高騰に伴い公共料金一部値上げへ

問 入浴料の子ども料金が施設によってバラバラだが、町民の方により中学生以下を無料にするなどの対応は難しかったのか。

答 第8次行財政改革プラン策定の計画段階より検証・検討を重ねながら提案する公共浴場料金です。営業の安定を第一に考えながら、施設設置の背景にも配慮しています。施設によってはお子様に対し一層配慮した利用料金としたものです。

問 封人の家の入館料も上げても良かったのでは。今後の他の公共料金の考え方は。

答 今回は燃料費がかかる部分で改正を提案しています。観光や社会教育、居住の確保なども検討していく必要はありますが、安易な対応ではなく検証・検討を行った上で健全運営に努めていきます。

問 今年7月に起きた大災害を理由に水道料金を上げないと表明しているにも関わらず、今回の改正に至った経緯は。時期を見て同一に行っても良かったのではないかと。

答 上下水道は生活に直結する施設で、料金立定は全世帯に大きく影響することになるため見送りました。温泉使用料については不採算を少しでも埋める観点で急務と捉え、地域の方々の意見も聞きながら進めております。



最上のまちづくりに熱き提言

6 議員が一般質問

- 発言順 1 須貝 康幸 「DX化に向けた取り組みについて」「町民の安心安全をどのように守っていくのか」
- 発言順 2 山崎 香菜子 「体験格差の解消につながる支援について」「最上中学校体育館への大型冷房設備設置について」
- 発言順 3 栗林 浩子 「最上町内の就労問題と働き手の住環境整備について」「予約制乗合バス（デマンドバス）の運行と支え合いの地域づくりの状況について」「最上中学校のふるさと探求学習について」
- 発言順 4 宮本 浩 「最上のまちを目指す上で、どこに個性を見出して伸ばしていくのか」
- 発言順 5 佐藤 正市 「外国人技能実習生の現状について」「赤倉温泉スキー場の運営について」
- 発言順 6 佐澤 浩 「教育改革について」

一般質問とは
議員の調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

問 議員質問 **答** 町長答弁 **答** 教育長答弁

※掲載している文章は抜粋したものです。詳しくは各議員のQRコードからご覧下さい

子どもの体験格差の解消につながる支援を教育資源を活用し体験の機会を後押しします

問 経済格差は、子どもたちの体験にも影響が及んでいる。公益社団法人チャレン・フォー・チルドレンによる全国的な調査では、低所得家庭の3人に1人が1年間体験ゼロの状態にあることが分かった。習い事に使用できる寄付型クーポンの利用促進、送迎支援、町で体験可能な習い事の情報発信などから、多様な体験への環境整備を自治体として支援してほしい。

答 スキー場のリフト引換券は本町の教育クーポンとも言える取り組みです。町のHPに子育て支援に特化したページを追加を検討しており、情報発信の充実に努めて参ります。行政、地域、企業や団体等が連携し、本町独自の教育資源を最大限に活用し、経済的な要因や地域性、家庭環境による違いを軽減し、すべての子どもが多様な経験を積めるよう後押ししていきます。



中学校体育館への大型冷房設備設置について

問 子どもたちの貴重な活動の時間が猛暑の影響で制限されている。最上中学校体育館は町内最大の避難所に指定されていることもあり、複合的に考え大型冷房設備を設置すべきでは。

答 施設の構造上、より効果的な設備について調査を行うとともに、関係機関とも十分に連携を図りながら、検討してまいります。



やまざき かなこ
山崎 香菜子議員

動画はこちらから



質問のねらい

どのような経済状況でも、子どもたちが平等にやりたいことに打ち込める環境づくりは大人の責務であり自治体の支援が必要。多様な体験は困難な時代を生き抜く力になります。

DX化の取り組みをどう進めていくのか

問 町長 「インフォカナル」で、情報を届けております。わが町では全戸へのタブレット導入を考えているのか。

答 インフォカナルをパソコンやスマートフォンで情報を閲覧することが出来ますので、今現在タブレットの全戸配布は、検討しておりません。

問 観光分野でデジタルを活用し、観光客を呼び込むことが出来ると思つて現在行っていることを、お伺いします。

答 SNSやショート動画を用いながら簡単に情報を得られるような仕組みづくりとインフルエンサーの方々にもご協力をお願いしてまいります。

町民の安心安全をどう守っていくのか

問 最上町で生活していくうえで町民の安心安全をどのように守っていくのか。防犯強化のために防犯カメラ購入補助金制度の必要性は。

答 最上駐在所に1つに統合されましたが、人員を集中させることで、迅速な対応が可能になり詳細な情報収集能力の向上につながっています。防犯カメラ設置の補助制度も財政的な裏付けも含め検討していく余地があります。



動画はこちらから



質問のねらい

DX化や防犯強化などの情報を町民に周知を行い、デジタルに関心を持っていたらと思う質問しました。
*DXとは、デジタル技術を社会に浸透させ人々の生活を、より良いものへ変革させること。

その他の質問 「スマート農業・スマート林業などの第一次産業でのデジタル化推進を考えているのか」など質問しました。



すがい やすゆき
須貝 康幸議員

若者の就労問題と働き手の住環境整備は

町長 労働力の確保と若者の定住に向けた重要な政策課題

問 働き手不足を解消するために受け入れた技能実習生等の、外国人労働者の住宅不足が問題になっているが、働き手の住環境整備が必要ではないか。

答 労働力不足は深刻であり、外国人労働者を受け入れ労働力を確保するためには空き家の活用を含めた住環境整備が必要であり、極めて重要な政策課題であると受け止めています。

問 就労問題について、地方と都市部の労働条件に格差があると感じる若者が多いようだが、事業者と働き手のニーズが合うように事業者と町が協力できることはないのか。

答 町内企業では経営理念を持ち従業員を大切にされており過度な負担をかけるように努力をされております。若者が町に定住してもらうことは町も一般企業も共通の目的であり方向を見据えていきたい。

問 デマンドバスの利便性向上とランドマーク新設は

答 閉店した商店に代わるランドマークの新設は、午後の便を増便できないか、当日の急な利用や変更等、柔軟に対応できないのか。

問 新たなランドマークを検討中です。また、運行30分前までの予約が可能になった他、新年度から携帯電話からの入力予約が可能となり、予約状況やバス運行状況も確認できるように

質問のねらい

生産年齢人口の減少による労働力不足を補う外国人労働者を受け入れる上で住宅不足が問題となっています。また、若者が町内で就労するために町ができることはないのか質問しました。

その他の質問 「支え合いの地域づくりの支援活動について」「最上中学校探求学習について」など質問しました。



くりばやし ひろこ
栗林 浩子議員

動画はこちらから



最上のまち どうして個性を見出しつづけるのか

町長 究極的に「人づくり」「人材育成」に尽きる

問 「最上町らしさ」として何を個性に他自治体との違いを明確にしていくのかを再考し、目に見える形で行動していかへべきと考えますが、町長の考えは。

答 来年度は「第五次総合計画後期計画」の策定年

にあたりますので、前期計画の振り返りと共に、まちの個性・強みに磨きをかけていく為の政策や施策の企画立案に努めて参りたい。行政がすべて示すものではなく、様々な領域分野で頑張っておられる皆様の思いや考えがベースにあり、そこから共通した目的意識を持ち、共に知恵を出し行動する、いわゆる協働のまちづくりとして進めていかへべきであると思っています。これから我が町はどこに個性を見出して、まちづくりを進めていくのかを考えますと、究極的に「人づくり」「人材育成」に尽きると考えております。青少年を含む若い方々に愛され、



動画はこちらから



質問のねらい

まちの個性を見出すことで事業の選択と集中が図られ、魅力や価値が町民だけでなく町外の人にも伝わることで定住・移住につながっていくものと考え質問しました。

この町に誇りと大いなる可能性を信じ、チャレンジできる環境を整えることだと思えます。その手法として「地域資源の再発見と活用」「幅広い分野との連携・協働」をもって、最上のまちづくりを目指してまいります。



みやもと ひろし
宮本 浩 議員

教職員の働き方改革は

教育長 教育の充実に努めてまいります

問 教育は人なりと言われるように、良質な教員が増えるように、処遇を改善し労働時間をいかに削減するかであります。重要度の低い業務を削減し、効率化を図る必要があります。聖域と言われた教職の世界。崇高な意思を抱き、教職の世界に飛び込んだ若者たちが、思いとは裏腹に過酷な現状を知ることになりました。町づくりは人づくり、人づくりは家庭と地域と教育現場にあります。若い先生方の崇高な思いがくじけない環境づくりに徹底したいと考えています。

ち、生き生きとした姿で教壇に立ち、教育の充実に努めていけるよう精一杯支援し、力を尽くしてまいります。



答 教員の働き方改革を

考えることは、教育の未来を考えることにつながります。本町の学校教育が、これまでの歴史の中で地域や保護者と共に創り上げてきた豊かな学校文化を大切にしていくと共に、全ての教員が誇りを持

質問のねらい

教職員の長時間労働が、教職員のなり手不足を深刻化させている。質の確保という観点からも、働き方を見直し、優秀な人材が教職員を目指す環境を整えることが重要なことから質問しました。

その他の質問

「デジタル教科書について」質問しました。



ささわ ひろし
佐澤 浩 議員

動画はこちらから



外国人技能実習生の現状と行政の関わりは

町長 外国人労働者生活環境推進プロジェクトで検討

問 外国人技能実習生制度は、わが国で培われた技能・技術又は知識を開発途上地域等へ移転することによって、当該地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与する事を目的として、創設されました。2017年11月、「外国人の技能実習の適正な実務及び技能実習生の保護に関する法律（技能実習法）」が施行され、多くの実習生が受入れされています。技能実習生の現状と行政の関わりを伺います。

答 この制度を導入し、実習生を受入れてる事業者

は製造業で5社、建設業で2社、旅館業で2社、エネルギー事業1社で、87名の受入れになっています。一番の課題は、住居確保問題です。現状の社員寮や空き家対応では、今後の増員や個室の対応が困難視され、事業者から直接、外国人労働者向けの住居問題の相談がありました。更に、言語・福利厚生・



動画はこちらから



質問のねらい

年々、増加している外国人技能実習生の現状と課題の把握をねらいとして、行政の対処・関わりを確認するため、質問しました。

ストレス・ハラスメント等の課題があります。これらの状況を踏まえ、今後は「外国人労働者生活環境整備推進プロジェクト」を立上げ、労働者の住環境・生活環境の整備充実に向け鋭意検討してまいります。



さと まさし
佐藤 正市 議員

議会をより身近に！

みんなの議会

今回のテーマ
町民のみなさんが
まちの1年に期待すること

巻頭ページの議員の抱負に合わせ、町民のみなさんからも今年まちに期待したいことをインタビューしました。想いを受け取り、実現できるまちを目指してまいります。



森 綾子さん
(瀬見)

人口減少の影響から旅館業も厳しい状態です。地産地消を推進するために食材供給調達システムの確立を行政に望みます。本も好きなので、西地区の集落センターに図書コーナーを設けるか、コミセンの図書室の拡大も希望します。



菅 浩一さん
(赤倉)

最上町の少子高齢化・人口減少に伴い、町の中心商店街の賑わいと活気を取り戻したい。更に、一人暮らし世帯の人々への手堅いサポートを切に願います。一つの想いに光明がさす町政運営に期待します。



菅 幸志さん
(下小路)

子ども達が安心して登下校でき、楽しく充実した学校生活を送れるよう願っています。子ども達が大きくなって好きでいられるような最上町になるよう町民皆さんで盛り上げていきましょう！



高橋 理央さん
(赤倉)

私は、活気溢れる一年を期待しています。地域行事や祭りを通じて、多くの人々が最上町を訪れ、町の魅力を知る機会が増えることを願っています。

みなさんの声が、まちを変えていきます！